

家庭学習の手引き～ノートに貼って、活用しよう～

国語 社会

STEP 1	【やってみよう】学習漢字ノートを使って漢字小テストの勉強をしましょう。 ①なぞり書き→読み→書きの順にワークを使って練習する ②家庭学習ノートを使って書けるかどうかテストする 【効果】毎日の積み重ねで漢字の力がつきます。
STEP 2	【やってみよう】教科書を音読しましょう。古文や漢文は暗唱できるまで音読しましょう。 【効果】すらすら読めるようになります。次の時間に学習する範囲を読んでおくこと予習にもなります。
STEP 3	【やってみよう】ワークの問題をやってみましょう。答えを家庭学習ノートに記入し、丸付けも行います。「ワークP〇〇ページ」とページ数も書いておきましょう。 【効果】繰り返し取り組むことで、問題を解く力がつきます。間違えた問題はできるまで解き直しましょう。
STEP 4	【やってみよう】 ①授業で取り組んだ問いについて、ノートにメモをした友達の意見も参考にして、3～5行程度で家庭学習ノートに書きましょう。 ②家庭学習ノートに、授業中の板書の重要な用語（色チョークで書かれています）を「穴埋め」にして、自分だけのノートをつくりましょう。 【効果】自分の考えを表現する力が高まります。テスト前に重要なポイントを短時間で見直すことができます。
STEP 5	【やってみよう】問題集を用意して、様々な問題を解こう。 【効果】文章を速く、正確に読む力がつきます。問題を繰り返し解くことで、答え方の注意点が分かり、「解き方」が身に付きます。
教科担任から	STEP 1～STEP 5の他にも次のことにも取り組んでみましょう。 ①漢字検定に挑戦！ 学校では2級まで受検できます。 ②様々な種類の本を読もう。朝読書の時間を有効活用しよう。 ③新聞から興味を持ったコラムを一つ選び、家庭学習ノートに5行程度でまとめましょう。自分の感想や意見も書くと朝の会のスピーチにもなりますね。

STEP 1	【やってみよう】家庭学習ノートに、授業中の板書を写してみよう。 【効果】ただ写すだけでも復習になりますが、声に出しながら書くことより効果的です。書き写す中でわからない用語があれば、教科書等で調べましょう。
STEP 2	【やってみよう】家庭学習ノートに、授業中の板書の重要な部分を「穴埋め」にして、自分だけのノートをつくりましょう。 【効果】答えをすぐに記入しないことで、繰り返し学習できます。
STEP 3	【やってみよう】ワーク「社会の自主学习」をやってみよう。テスト前などにワークを見直すために家庭学習ノートにページ数と答えを書くなど工夫しましょう。間違えたところはノートにまとめ、再度同じ問題を解いてみましょう。 【効果】答えの書いていないワークは繰り返し学習できます。問題を解くことで理解できていないところを知ることができます。
STEP 4	【やってみよう】テスト直前、STEP 2の穴埋めノートやSTEP 3のワークを再度解いてみましょう。 【効果】出来ない問題がテスト直前に明らかになるのは、得点UPに直結するはずですよ。
STEP 5	【やってみよう】余裕がある人は、予習ノートをつくりましょう。教科書から重要語句を書き出して意味を調べたり、家庭学習ノート1ページ程度にまとめたりしても良いでしょう。 【効果】予習→授業→復習のサイクルが確立すると、これだけで3回同じ内容を繰り返し学習したことになります。
教科担任から	①どの教科でも言えることですが、学習した内容は時間がたつと忘れてしまいます。その日学習したことはその日のうちに復習しましょう。 ②忘れてしまうという大きな問題をクリアするには、繰り返し学習すること以外にありません。 ③2度やってできなければ、3度も4度も試してみるのが大切です。 ④わからないことはそのままにせず、どんどん先生方に質問しましょう。 ⑤市販の問題集などを持っている人はワークと同様、何度も問題を解きましょう。 ⑥家庭学習はこのやり方でなければいけないというものはありません。しかし、何から手をつけて良いかわからないという人はSTEP 1から始めてみましょう。そして自分にあった家庭学習方法を早く見つけましょう。

数学

STEP 1	【やってみよう】授業のノートを家庭学習ノートにもう一度写す。 【効果】学習内容を思い出すことができます。
STEP 2	【やってみよう】家庭学習ノートを活用して、授業で間違えた問題をもう一度解く。(パワーアップ!…繰り返し解くと更に力がつきます) 【効果】授業中に自分の力で解けなかった問題にじっくり取り組むことができます。
STEP 3	【やってみよう】授業で学習した範囲のワークを解く。解けた問題と解けなかった問題を印や色で分けておきます(テスト前に復習しよう)。 【効果】学習内容が定着したのか、改めて確認することができます。
STEP 4	【やってみよう】家庭学習ノートを使って、もう一度ワークに取り組む。STEP 3で解けなかった印がついている問題を中心にやると効果的です。 【効果】繰り返し解くことで、確実に自分の力で解くことができるようになります。
STEP	【やってみよう】ワークのB問題やまとめのページ、教科書の章の問題Bを解く。(パワーアップ!…解き方が分からなかったらあきらめるのではなく、先生に聞いて最後までじっくり解きましょう) 【効果】初めて見る問題を解くことで、応用力を身に付けることができます。
教科担任から	① 数学が苦手ややる気がおきない…という人は、まずはSTEP 1に取り組みましょう。 ② 授業で解けていた問題も、時間がたつとすぐに解けなくなってしまうことがあります。解き方が分からなくなったら、STEP 2、3に取り組んでみましょう。 ③ テスト対策として、高得点を目指す人は、日常的にSTEP 4、5に取り組みましょう。併せて市販問題集があれば効果的!

理科

STEP 1	【やってみよう】家庭学習ノートに、授業中の板書事項の中から、重要と思われる用語を書き出してみます。 【効果】今日授業で行ったことを思い出すはずですよ。
STEP 2	【やってみよう】家庭学習ノートに、授業中の板書事項の中から、重要と思われる用語を書き出し、単語のように何度も書き写します。 【効果】基本用語が定着するでしょう。
STEP 3	【やってみよう】STEP 1とSTEP 2に加え、プリントの穴埋め問題や作図なども家庭学習ノートに写してみます。 【効果】授業の復習がほぼ完全にこなすことができるでしょう。
STEP 4	【やってみよう】板書の範囲のワークブックの問題や理科ノートの問題にチャレンジしてみましょう。 【効果】習ったことへの考え方や、チャレンジした問題に対する考え方や問題自体の解き方が理解できます。
STEP 5	【やってみよう】授業で習った範囲の教科書を目を通すだけではなく、何回か読んでみましょう。 【効果】断片的な知識でも、言葉をつなげて、文章化することで、習ったことをまとめる力がつきます。
教科担任から	身の回りには科学的な事項であふれています。大野にいる皆さんにはそのことを自覚し、体感してほしいと思います。理科の力をつけることは単に成績を上げるだけではありません。身の回りの「なぜ？」をふやしてほしいなと思います。楽な方法は教師や友人に聞くことですが、自分で調べることで、さらに記憶に残ります。自信が付きやす。今ではネットで簡単に情報を収集できますね。生活の中で理科を感じながらすごしてください。

1年生への手引き

STEP 1	その日、学習した単語を声に出して読みながら数回書き、日本語を見て単語が書けるか、自分で確かめる。
STEP 2	その日、学習した文を声に出して読みながら数回書いて、日本語を見て英文が書けるか、自分で確かめる。
STEP 3	その日、学習した教科書に対応するワークを学習し〇つけをする。
STEP 4	その日、学習した教科書の日本語訳を見て英語を書く。
STEP 5	・毎日、1ページ分ずつ日本語訳を見て英語を書く。 ・参考書で、学習した内容が定着しているか問題を解く。 ・一日のできごとを英語で日記として5行分書く。 ・過去に習った単語を復習する。
教科担任から	英語を身に付けるには継続が大切です。毎日確実に家庭学習を行いましょう。

英語

STEP 1	①英語の歌を聴いたり、洋画を観る。
STEP 2	①教科書は家庭で声を出して読む⇒暗唱できるまで読む。②語彙力の獲得のために、既習の単語は正確に発音できるまで読み、意味を理解し、スペルが書くことができるようにする。③次時の新出単語・基本文・本文の書き写しを「ノートの整理の仕方」の要領で行う。④ワークブックの課題を行う。⑤1日30分は復習・予習をする。⑥テレビのNHKニュースを副音声で聞く。⑦ラジオやテレビの基礎英語や英会話入門を聞いたり見たりする。
教科担任から	語学の習得は継続することが大切です。毎日確実に家庭学習を行いましょう!